

目次

1. グランドツアーの概要
2. 滞在したホテル
3. [1日目]- ファヴァーラ
4. [2日目]- トラッパーニ
5. [3日目]- パレルモ
6. [番外編]- 料理
7. [4日目]- チェファルー
8. [5日目]- パレルモ / モンレアーレ
9. [6日目]- パレルモ
10. 最終日
11. まとめ



1. グラントツアーの概要

5日間のワークショップを終えたのち、私たちはヴァッレドルモから初日に滞在していたパレルモに帰ってきました。

これから6日間のシチリア建築視察のグラウンドツアーです！

アジア3大学の学生・職員全員とヨーロッパ2大学の学生の希望者が参加し、シチリア西部を中心に巡りました。日程と訪れた都市は下記の通りです。



- 9/16 FAVARA in AGRIGENTO
- 9/17 GIBELLINA / SALINE in TRAPANI
- 9/18 PALERMO
- 9/19 CEFALU in PALERMO
- 9/20 MONREALE in PALERMO
- 9/21 PALERMO



2. 滞在したホテル



毎日、シチリアの各スポットを訪れ、夜は同じホテルに帰ってくるという流れで私たちはそこに7泊しました。場所はパレルモの中心街で、外を出たら毎日お祭り騒ぎな感じでした。大道芸をしている人やバンドを組んで曲を披露する人などが集まり、お客さんで夜はいつでも賑わっているエリアです。



朝食はビュッフェスタイルで、毎朝地元の特産である生ハムやチーズ、クロワッサン、カプチーノのセットというイタリアの代表的な朝食を堪能しました。テラスからの眺めはこんな感じ。古き良きヨーロッパの街並みの中で、風を感じてリフレッシュ。ただ朝はいつも早いので普段はあまり落ち着く暇もなかった気がします(笑)。

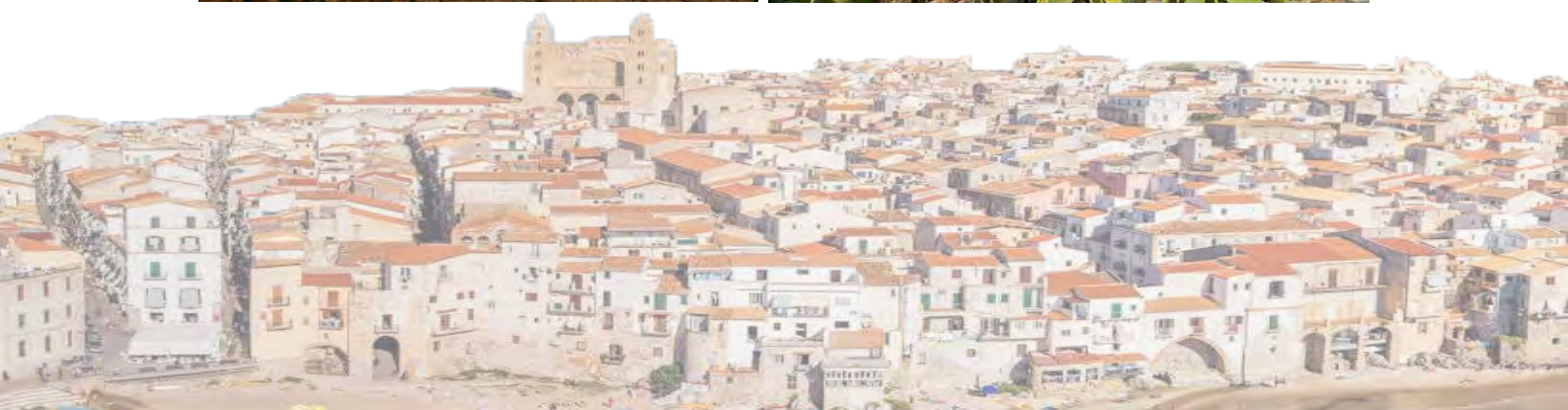


3. [1日目] - ファヴァーラ (アグリジェント神殿の谷)

初日はファヴァーラという都市を訪れました。古代ギリシアの植民都市アクラガスの当時の遺跡が現在も残る観光地です。まさかイタリアを訪れてギリシアの遺跡が見れるなんて……。建築学生からするとお得な気分でした (笑)。世界遺産に登録されている7つの神殿遺跡「神殿の谷」は存在感にどれも圧倒されます！こんなに保存状態が良いのに建てられたのが約2500年前というのが実に驚きです。



7つの遺跡を巡るには1.5kmくらいあるので、2、3時間ずっと歩いていました。砂漠地帯のような広大なエリアの中、歩き疲れて一休みのジェラート。イタリア旅行中はいつでもジェラートが食べたくなっちゃいますね。

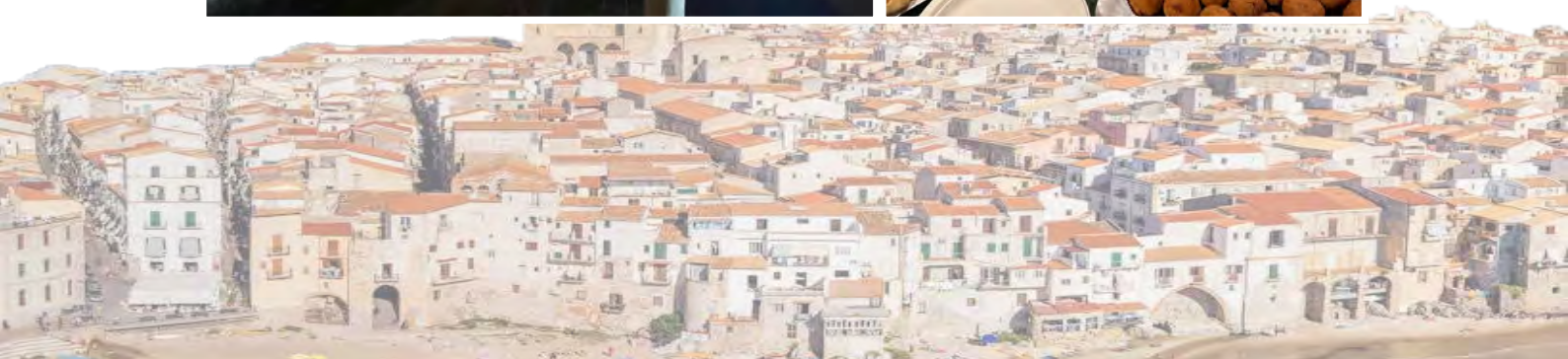


3. [1日目] - ファヴァーラ (Farm Cultural Park)

次に長時間のバス移動で到着したのは、Farm Cultural Park というアートギャラリーです。聞く話によるとファヴァーラはイタリアの中でも失業率の高い街で、ほとんど廃墟化していたこの旧市街地を改修し、アートを通してこの街を再生させたようです。至る所に現代アートが散りばめられており、中には現在の政治を批評するような風刺の効いた絵もありました。いわゆるインスタ映えスポットが沢山あり、楽しい時間を過ごしました。



そしてこの会場では軽食が用意されていました。ビュッフェスタイルで美味しそうなフィンガーフードが並んでいます。ワインを片手に学生同士での会話が盛り上がった思い出深い一日となりました。



4. [2日目] - トラッパーニ (Cretto di Burri)

はじめにジベリーナという都市を訪れました。訪れた場所は巨大なコンクリートが立ち並び、その隙間を歩いていく迷路のような空間でした。



そのスケールに圧倒されるとともに、まず頭に？が浮かびました。なんなんだ、これはと。しかしガイドさんの解説を聞いて初めて気づく、しっかりとした歴史的背景がありました。1968年のベリーチェ地震でこのエリアで栄えていた都市が破壊され、ここから離れたところに新しい都市が再建されました。そして残された残骸の処理や元々の街並みをどう残していくかということで、街並みを維持するプロジェクトが行われました。

こちらはイタリアの彫刻家として名高い Alberto Burri の作品です。旧街区をそのままの形でコンクリートで覆うことで、現在のようなアートとも言える遺跡ができあがりました。聞いて納得、ただその手法が日本では考えられない斬新なスタイル。さすが海外だなと思わされた瞬間でした。



4. [2日目] - トラッパーニ (新ジベリーナ)



そしてそのプロジェクトの一環として建てられた教会にも訪れました。外観は上の写真のような感じ。バスから降りてこれを見たとき、はじめ工場のようなところを思い描いていましたが、全然違いました (笑)。

こちらの建築もまた普通ではない様子で、宇宙的で神秘的な印象を受けました。やはりこちらもスケールが非常に大きいです。教会の中はこんな感じで、ぽっかり空いた空洞に向かって祈るなんとも教会らしい空間ですね。



4. [2日目] - トラッパーニ (塩の博物館)



次にバスで移動し、トラッパーニを訪れました。ここは歴史ある製塩所で塩の博物館が併設されています。シチリアでは塩の生産が有名で、その歴史や伝統的なその製造過程を教わりました。

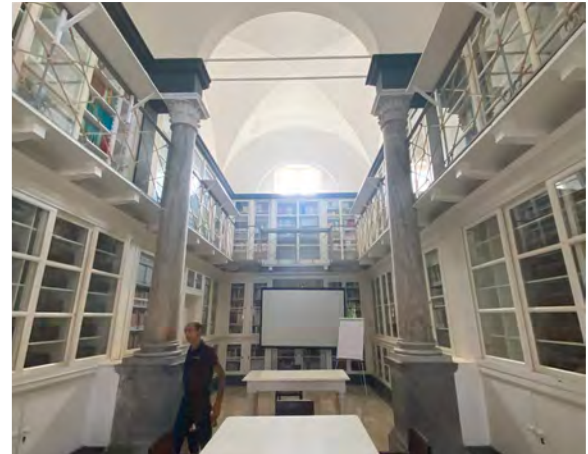
日本ではなかなか見られない海水をくみ上げるための風車がありました。風車と塩田の風景がうっとりするほど写真映えますね。重要な沿岸湿地でもあり、多くの渡り鳥が訪れるんだとか。



5. [3日目] - パレルモ (Orto botanico di Palermo)



この日はパレルモ市内を歩いて散策し、植物園を訪れました。1795年にオープンした植物園で、イタリアで最も美しい植物園とも言われているそうです。世界中の植物が生息しているらしく、地中海性気候で育つ植物はどれも猛々しい生命力に圧倒されます。右の写真はそれを象徴するかのような存在感でした。



そして、園内には新古典主義様式の建物が点在していました。ここは昔薬局として使われていたらしく、この地で採れた植物を調合していたんだとか。その名残が施設内には見られ、小さな専門図書館が中にありました。外装と内装のギャップに驚きました。外は植物園に馴染んだ温かみのある様子で、中は清潔感のある綺麗な空間でした。



6. [番外編] - 料理

ここで一休み、番外編です！

この建築視察の旅では基本的には自由に自分たちでお店を探す形でした。その中で、食べた料理を紹介したいと思います。まずはパスタ編、イタリアはやはり主食はパスタなので毎日パスタを食べていました。パスタといっても種類は豊富で、一般的な麺タイプのものから、ラザニアのようなタイプ、ほかにもいろんな形のパスタがありました。個人的に一番美味しかったのは左上のチェファルーで食べた具沢山な海鮮が入ったパスタです。



6. [番外編] - 料理

パスタ以外にもいろんなモノを食べましたが、その中でもグランドツアー期間で食べた特にイタリア料理っぽいものを抜粋しました！

地中海の海鮮料理やリゾット、ピザや様々なデザートなど色んなグルメを頂きました。やはり美食の国イタリアでのグルメはどれも本当に美味しかったです。

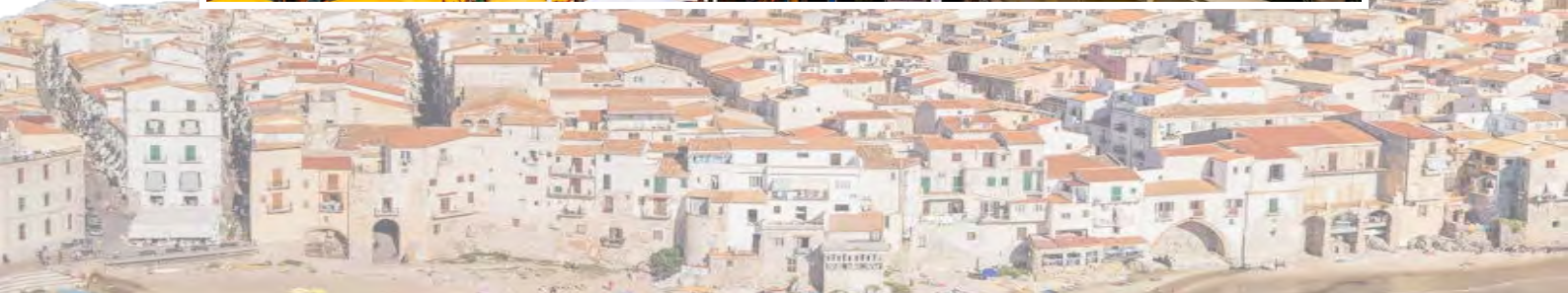


7. [4日目] - チェファルー (ビーチ沿いの街並み)

この日は電車で少し遠出です。私はこの日が一番楽しみでした！なんて言っただけでシチリアでリゾート地として有名なチェファルーに行けるんですから。泳ぐ気満々で水着を持参しました。訪れたのは9月でしたが、やはりイタリアは温暖でまだまだ泳げるシーズンみたいでビーチには観光客で溢れていました。

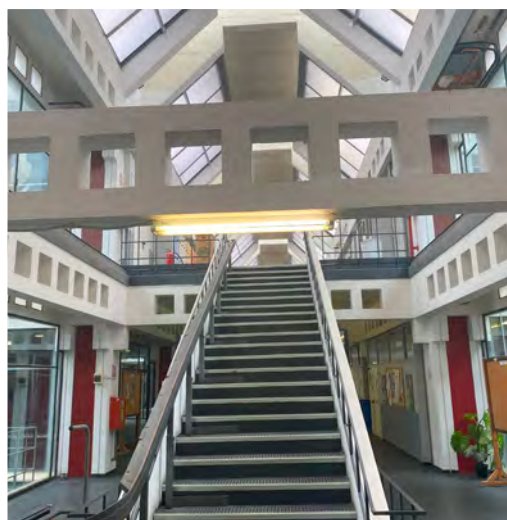


ビーチはもちろん素敵だったのですが、この街並みもまた素敵過ぎますね。歩いていくたびに写真を撮りたくなるヨーロッパの街並みが私は大好きです。この日は満足するまで泳いで、通りのお店でお土産を探して、美味しいランチを食べて、と最高の一日でした。私は旅を通して、ここで食べたパスタが一番美味しかったです！また、この日訪問した大聖堂については、後ほど触れたいと思います。



8. [5日目] - パレルモ (パレルモ大学キャンパス周辺)

この日はワークショップに参加していたイタリアの大学、パレルモ大学を訪問しました。建築学科の校舎は比較的最近出来たとの事で、日本の大学と少し似た印象を受けました。建築学科の他、農学部棟、図書館など探索しました。中でも屋上のプールは開放されていて、テストや設計課題などで疲れた学生がリフレッシュで足だけでも浸かりに来たり泳いだりしているみたいでした。



そしてランチは大学内の食堂で食べました。ゲスト用の食堂もあり、コース料理などが食べられて、さすがイタリアだと思いました。



8. [5日目] - モンレアーレ (モンレアーレ大聖堂)



大学訪問後、バス移動でモンレアーレという街を訪れました。ここには世界遺産に登録されている大聖堂、修道院がありました。イスラム・ビザンチン文化と西洋の文化が見事なまでに融合したアラブ・ノルマン様式の建造物の建物です。金箔を使用したカラフルなモザイクが描かれていて豪華絢爛な美しさが見られます。

また修道院の中庭を囲む回廊は、216本の大理石すべてに異なる模様のモザイクがはめ込まれています。細かい装飾がどれも非常に凝っていて、実際に見ないと伝わらないことが多いのでぜひ訪れてみてください。



8. [5日目] - これまでの大聖堂



前頁の世界遺産は、『パレルモのアラブ・ノルマン様式建造物群およびチェファル大聖堂、モンレアーレ大聖堂』という名で登録されており、シチリア島計9か所が該当します。実は私たちこの旅でいくつもこの遺産に訪れていました。時系列は前後しますが、ここで紹介します。

上はチェファル大聖堂で、屋根は木造トラス構造とモンレアーレ大聖堂と同じですが、装飾は控えめでアラブ建築特有のゼブラ模様が見られます。

下はパレルモ大聖堂で、石造りのヴォールト屋根が架けられています。これまでの大聖堂とは一風変わったエレガントさがあるように感じられました。



9. [6日目] - パレルモ中心地 (歴史的建築)



そして他大学の皆との最終日は、パレルモ市内を再び散策しました。初めに訪れたのは貴族の別荘みたいなところでした。建物の外にも中にもいたるところに装飾が見られます。何の意味があるのか読み取れないものも多かったですが、個人的にとっても好きでした。柔らかな曲線美で装飾が作られていたり、置かれている家具もどれもかわいいものが多かったりと心が和みます。やはり貴族の暮らしにはこういった遊び心と落ち着きが必要なのでしょうか。

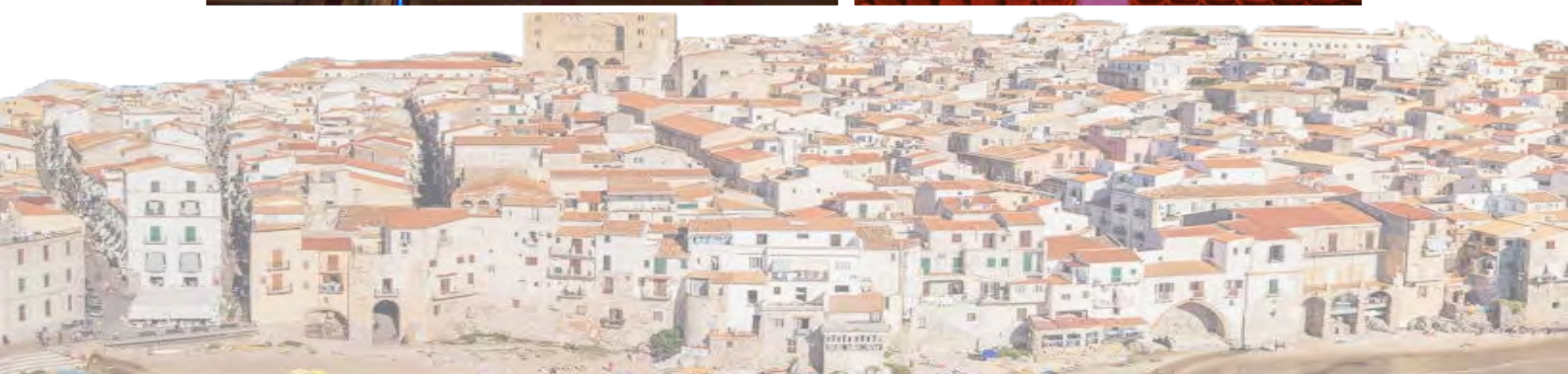
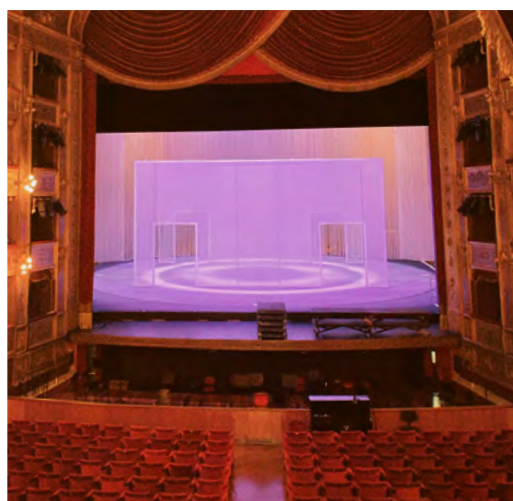
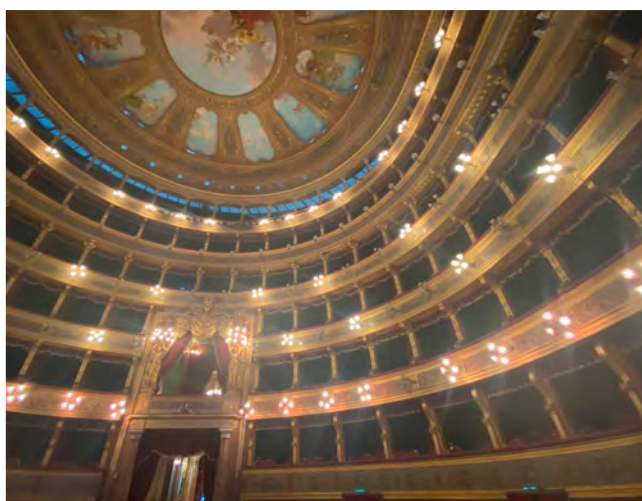


9. [6日目] - パレルモ中心地 (マッシモ劇場)



次に訪れたのがマッシモ劇場です。なんと世界で3番目の規模をもつ歌劇場なんだとか。堂々とした新古典主義様式のファサードで非常にかっこいいですね。そしてシチリアを舞台に撮られた映画「ゴッドファーザー」の中での印象的なシーンで撮影地に使われたみたいです。いまだに観れていないのでこれから観てみようと思います (笑)。

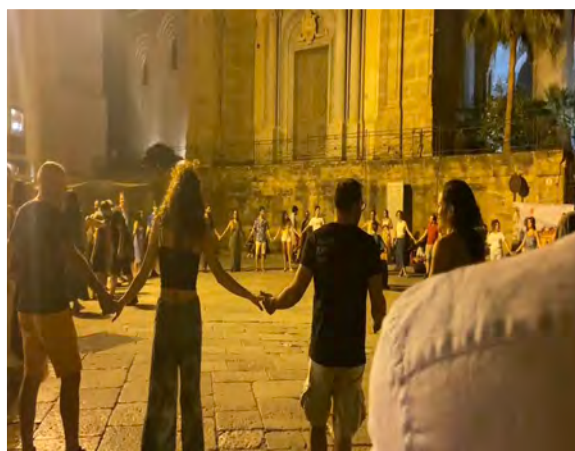
劇場内はうっとりするほどの豪華さです。特にVIP席からの眺めは良かったです。ここでぜひともオペラが観てみたかった、それだけが唯一の心残りです。



9. [6日目] - パレルモ



最終日の夜は皆集合してバーに行きました。全員建築学部の学生ですが、建築とは関係ない他愛無い話で夜は更けていきました。



これはバーに行くちょっと前のお話。いつもの広場で皆を待っていると、何やらムーディーな音楽を演奏する人たちがやってきました。そこに数十人の人が輪を作り何やらタンゴのようなダンスを楽しそうに踊り出すという中々日本ではみられない光景を目にしました。光の当たり方とか音楽の曲調とか色んなことが相まって、とても幻想的な時間に感じられました。

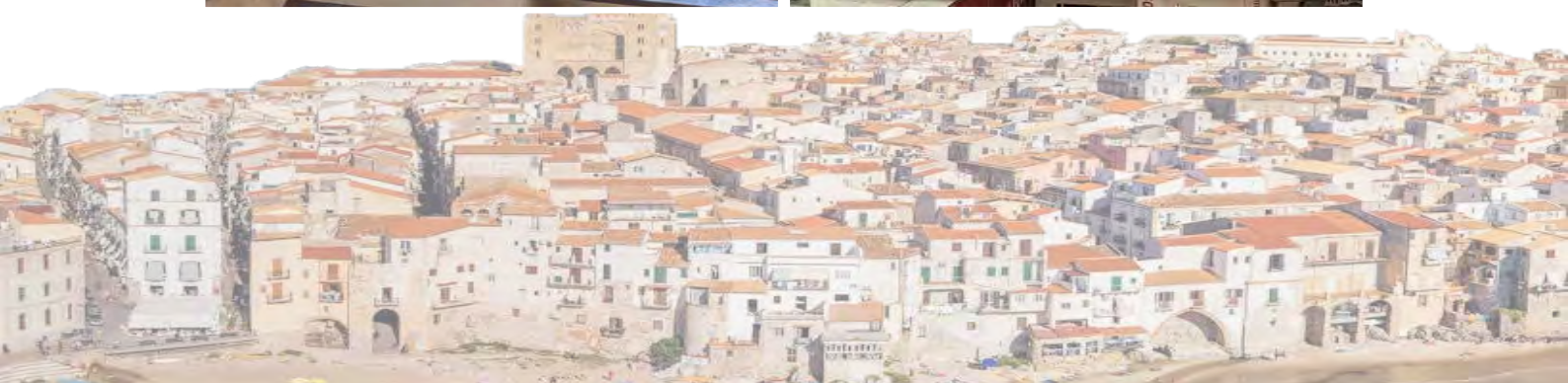


10. 最終日

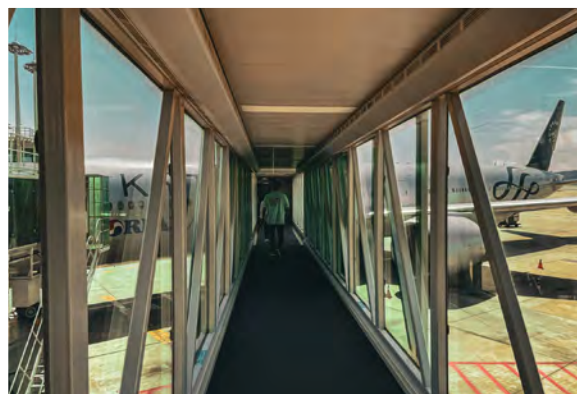
この日までに他の大学の学生、職員たちとは皆お別れです。少し寂しいですが、きつといつかまた会えますよね。私たち日本チームは飛行機の関係で他の大学よりも1日長く滞在していました。最終日はこの旅でやり直したことやお土産の買い足しなど思い思いの時間を過ごしました。

ここで少しお土産についてもご紹介したいと思います。

下の写真はどれもスーパーの販売コーナーなのですが、見ていただきたいのがこの品揃え！特にパスタコーナーがすごい、このお店は日本のコンビニくらいの大きさだというのに。どれだけパスタやチーズ、ワインがイタリアの人にとって身近であるかが伺えますね。値段も非常にお得です。イタリアでは普通のワインと水の値段はあまり変わらないみたいです。私自身パスタもチーズもワインもいくつかお土産に買って帰りました。



10. 最終日



そして長い長いフライトの旅。楽しかったこの旅の終了です。
経由した都市はパレルモ→ローマ→インチョン（韓国）→福岡です。ほぼ一日かけての旅なので、体力が非常に持っていかれてしまいます。



ここでこの旅で利用した2つの空港についてご紹介します。

左が韓国のインチョン空港、右がイタリアのローマ空港の天井架構です。こういった大空間を広くそして美しく活用するための工夫が隠されています。どちらもトップライトをとるために正三角形の格子でガラスを通して程よい光を採っています。インチョン空港が格子部分のブラインドの配置で調節しているのに対し、ローマ空港では、川のようにリニアに伸びるガラス部分をその幅で調整しているみたいです。

特に構造部が面白いですね。インチョン空港が樹木のように枝分かれした柱で支えているのに対して、ローマ空港がアーチ状の鉄骨フレームで長スパンを飛ばしているようです。



11. まとめ



最後にまとめとして、前半のワークショップの時は日々徹夜で常に設計のことを考えていないといけなかったですが、後半のグランドツアーはただ純粋に建築を楽しむ旅ができたのでとても気が楽でリフレッシュできました（笑）。

旅の中では様々な人との出会いがあり、その交流の中で学ばされることも多かったです。皆との集合写真を添えて本体験記を締めくくろうと思います。

また、英語だけはもう少し上達しないといけないと皆反省させられたと思います。最後に実は滞在中は色々なトラブルもあり、苦労する事も多かったですが、とても充実した思い出に残る旅になりました。

